

令和7年度 三次市立川地小学校だより



高こうし志

学校教育目標：ふるさとを愛し、高い志をもつ児童の育成

よく考える子
かかわりあう子
自ら行動する子

文責：校長 原田和明

川地中学校区の絆～小中合同活動～

《No. 9》
令和7年12月9日

壁にかけているカレンダーもあと1枚となり、令和7年もあとわずかとなりました。寒くなる日も増えてきましたが、体調には気を付けていきたいと思っています。

さて、12月3日（水）に川地中学校・青河小学校・川地小学校3校の児童生徒が一堂に会して、「小中合同活動」を行いました。「学区内の児童生徒の交流を深め、仲間づくりを促進する」という目的のもと、昨年度から始めた取組です。川地中学校生徒会を中心に企画を立て、たくさんの楽しい活動を通して絆を深めていきました。



この「小中合同活動」に参加するにあたって、子供たちに次のような「心構え」を伝えました。

○低学年（1～3年）は、とにかく楽しむこと。他の学校のみんなとお話すること。

○高学年（4～6年）は、中学生の動きをしっかりと見ること。

そして、低学年をリードしながら、中学生とつないでいくこと。



まずは自己紹介



トレジャーハント



スリッパとばし



いろんな人と話をしました

活動が始まると、すぐにみんな打ち解けて楽しくレクリエーションに取り組んでいました。また、活動の合間にも笑顔で話をしたり、じゃれ合ったり姿も見ることができました。

活動終了後、子供たちからは「小・中がいっしょに楽しくゲームができたのでいいなと思いました。」「年上の人や年下の人と遊んで楽しかったです。年上の人はいいろいろ教えてくれました。」といった感想が出ていました。事前の「心構え」について、しっかりと振り返ることができたと思います。

こうした、小中・小小の学校間連携によって、お互いの絆がさらに強くなったと感じました。今後もこうした川地中学校区のつながりを大切にしながら、教育活動を進めていきたいと思っています。

「本物」に触れる～修学旅行～

11月27・28日に、6年生は修学旅行へ行ってきました。いつも出発式のときに話をするのが、「『本物』に触れて、『五感』で感じよう!」ということです。今の時代、調べたいことや知りたいことは、インターネットを使えば簡単に知ることができます。しかし、実際に目の前で現物を見たり、話を聞いたり、触れたりすることを通して、単なる知識だけではない、多くのことを学ぶことができると考えています。



そうした意味でも、修学旅行ではさまざま体験をすることができました。子供たちからも「堀川めぐりで川からの風を感じた。」「実際に鳥取砂丘を歩いてみて大変さが分かった。」「砂の美術館の砂像の迫力に驚いた。」「友達と一緒に行動して協力できた。」などといった感想がありました。

修学旅行に限らず、さまざまな学年でも「本物」に触れる学習が行われています。今後もこうした学習活動を大切にしていきたいですね。

自分の力に挑戦～マラソン大会～



寒い中でしたが、12月1日（月）に校内マラソン大会を行いました。11月になり、休憩時間に「3分間ランニング」を続けてきた子供たち。自分たちの体力がどこまで高まったか、学年ごとに決められた距離をがんばって走りました。途中苦しくなって止まりそうになった時に、まわりから「がんばれー!」という大きな声援がかけられ、また走り出すといった場面もたくさん見ることができました。がんばってきた自分の力を信じて、乗り越えていく力はとても大切だと思います。こうした経験がこのマラソン大会でできたのではないのでしょうか。

主な行事予定

(12月)

18日（木）ふれあい相談日
23日（火）2学期終業式
25日（木）2学期末個人懇談会
26日（金）学納金口座振替日



学校のホームページはこちらから

<https://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/kawachi/>

(1月)

7日（水）3学期始業式
13日（火）・14日（水）
三次市学力到達度検査（3～6年）
15日（木）小中合同研修会（川地中）
ふれあい相談日
22日（木）みよし結芽育成研修
28日（水）学納金口座振替日

